

高知県初記録ダングラトラギス

太田 啓佑*

トラギス科魚類は日本近海から3属が知られており、このうちトラギス属は28種が報告されている(松尾他, 2018)。今回高知県大月町においてトラギス科トラギス属のダングラトラギス *Parapercis cylindrica* (Bloch, 1797) が採集された。本種の日本国内における記録は伊豆半島、愛媛県、屋久島、琉球列島とされており(島田, 2013)、高知県沿岸初記録となるためここに報告する。体各部の測定は全てデジタルノギスを用いて0.1mm単位まで行った。標本は北九州市立自然史・歴史博物館(KMNH)に所蔵されている。本標本を計測するにあたってご協力いただいた高知大学理工学部生物科学科海洋生物学研究室の遠藤広光氏に感謝の意を表したい。

標本

KMNH VR 100270、標準体長68.2mm、高知県大月町、2019年8月16日、太田啓佑採集

備考

本標本は背鰭棘数が5、背鰭棘条部と軟条部の間に欠刻がある、下顎前部の犬歯状数が9、側線有孔鱗数が48であることなどからRandall (2003) および島田 (2013) の示した *Parapercis cylindrica* の識別的特徴にほぼ一致したため本種に同定された。

本標本の計数・計測形質は以下のとおりである。なお計数・計測方法はRandall et al. (2008) にしたがった。

計測値：背鰭5棘21軟条；臀鰭1棘17軟条；胸鰭14軟条；腹鰭1棘5軟条；尾鰭分岐軟条11；側線有孔鱗48；側線上部鱗4；側線下部鱗19；背鰭前方鱗4。計測値(mm)：頭長16.7；吻長6.1；眼窩径4.6；両眼間隔2.3；尾柄高6.7；尾柄長5.0；背鰭前長18.3；腹鰭前長16.4；肛門前長29.9；体高(鰓孔部)13.0；体高(肛門部)15.6；背鰭基底長44.6；背鰭第1棘長3.8；背鰭第2棘長4.3；背鰭第3棘長5.5；背鰭第4棘長5.3；背鰭第5棘長2.9；背鰭最長軟条(第17軟条)長7.8；臀鰭基底長29.2；臀鰭最長軟条(第9軟条)



図1 ダングラトラギス。

長10.0；尾鰭長14.6；胸鰭長12.2。

引用文献

- 松尾 怜・松沼端樹・本村浩之・木村清志・2018. トラギス科魚類ヤマユリトラギス(新称) *Parapercis kentingensis* の日本における記録. 魚類学雑誌 65(1): 27-34.
- 島田和彦 2013. トラギス科. 1258-1264. In: 中坊徹次(編) 日本産魚類検索 全種の同定 第三版. 東海大学出版会, 秦野.
- Randall, J. E. 2003. Review of the Sandperches of the *Parapercis cylindrica* complex (Perciformes: Pinguipedidae) with description of two new species from the western Pacific. Bishop Museum Occasional Papers 72: 1-19.
- Randall, J. E., Senou, H. and Yoshino, T. 2008. Three new pinguipedid fishes of the genus *Parapercis* from Japan. Bulletin of the National Museum of Nature and Science, series A, Supplement 2: 69-84.

* 無所属

xnnrb586.2161@gmail.com